

# 突針 OT 型

突針・支持管

銅線・銅帯

アルミ線・帯

保護管・端子BOX

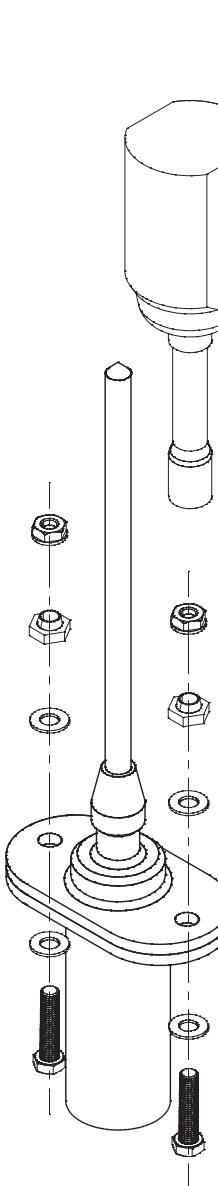
接地極・標示板

旧・新規格対比表

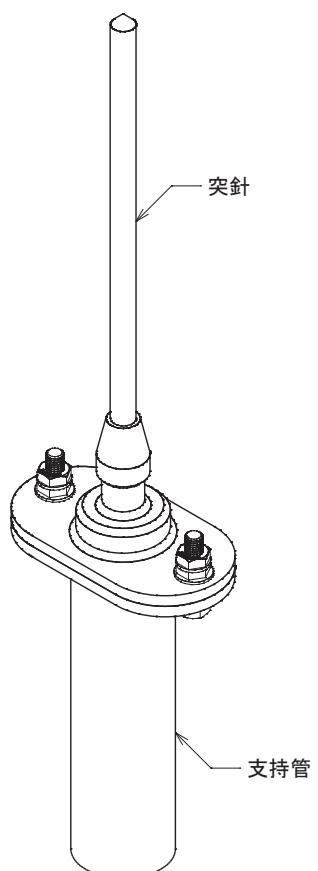
施工参考例

## ポイント

- ・ボルトとナットの緩みの有無を確認する



(1) 突針と支持管をハードロックナットで締め付ける。



(2) 突針が支持管と一直線になるように取り付ける。

# 支持管用接続端子 アルミ線用

突針・支持管

銅線・銅帯

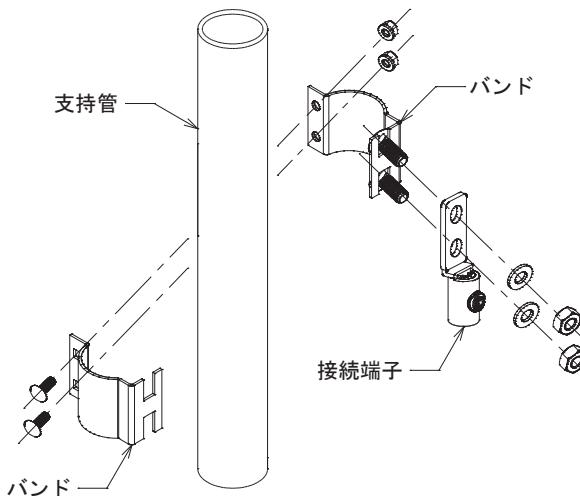
アルミ線・帶

保護管・端子BOX

接地極・標示板

旧・新規格対比表

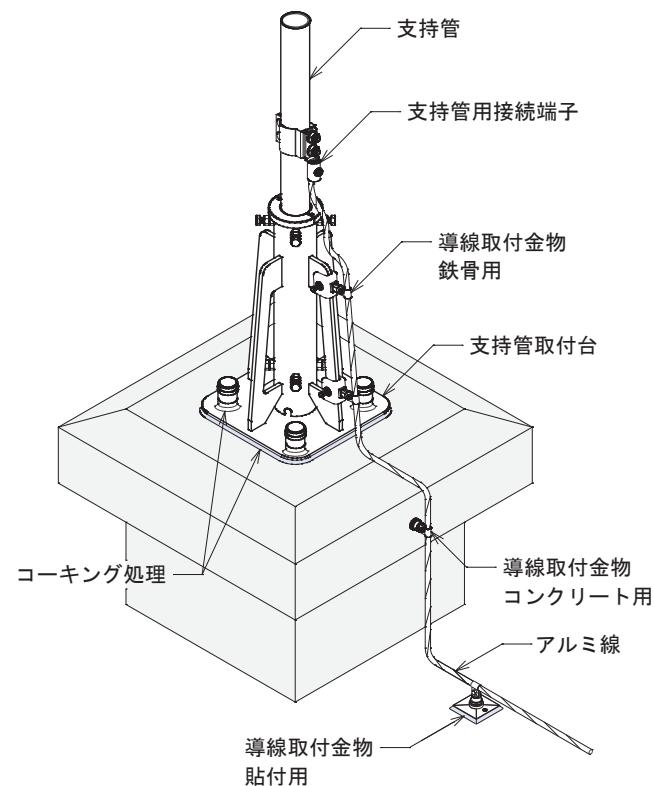
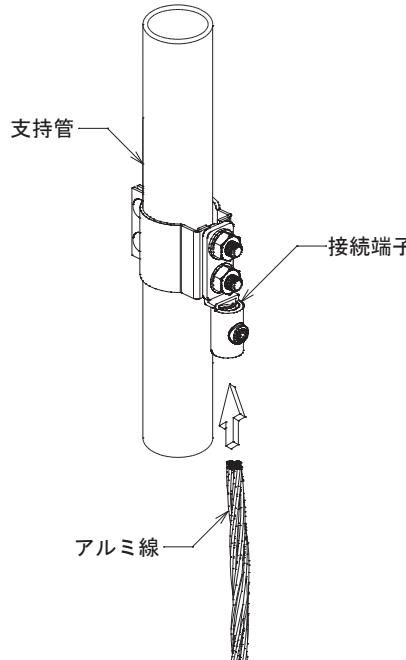
施工参考例



## ポイント

- ・ボルトとナットの緩みの有無を確認する

(1) 支持管とバンド、バンドと接続端子をそれぞれボルト2カ所で締め付ける。



(2) アルミ線を接続端子に入れ、ネジで締め付ける。

(3) 支持管用接続端子と鉄骨用金物が一直線になるように取り付ける。

# 導線取付金物 駆式屋根用

突針・支持管

銅線・銅帯

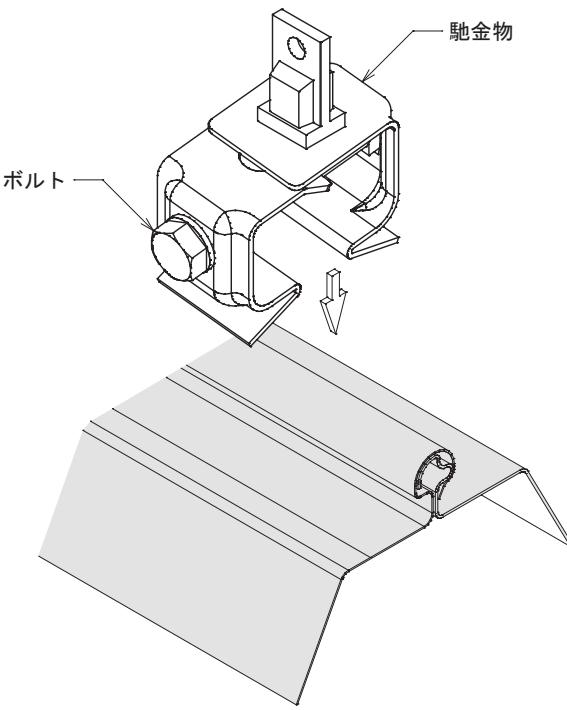
アルミ線・帯

保護管・端子BOX

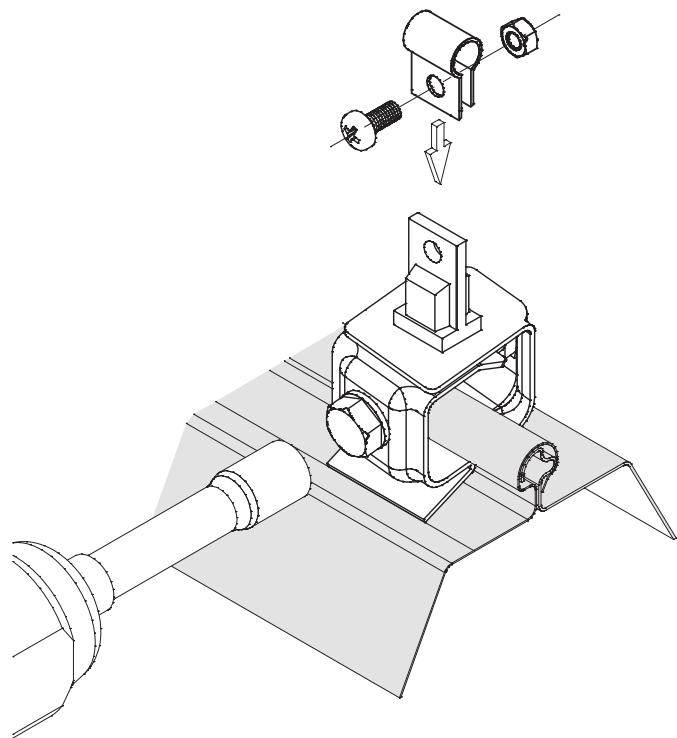
接地極・標示板

旧・新規格対比表

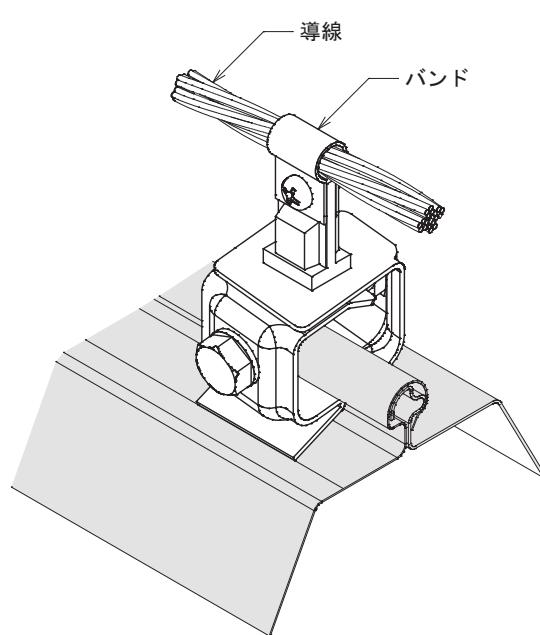
施工参考例



(1) 取り付け間隔は、水平0.6~1m以内とする。  
駆金物のボルトを緩め、折版の駆部に被せる。



(2) 駆金物をインパクトドライバー等で締め付ける。

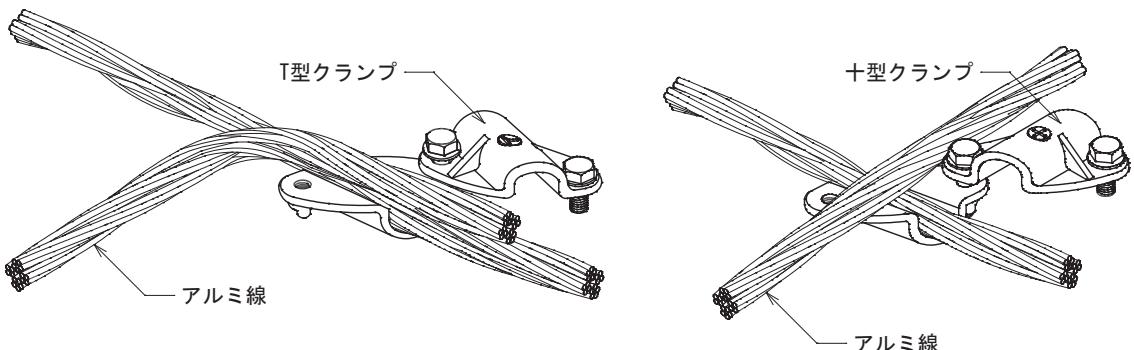


(3) 導線をバンドにて固定する。

## ポイント

- 施工前に、折版駆部の本締めされていることを確認する
- 配線方向に注意する

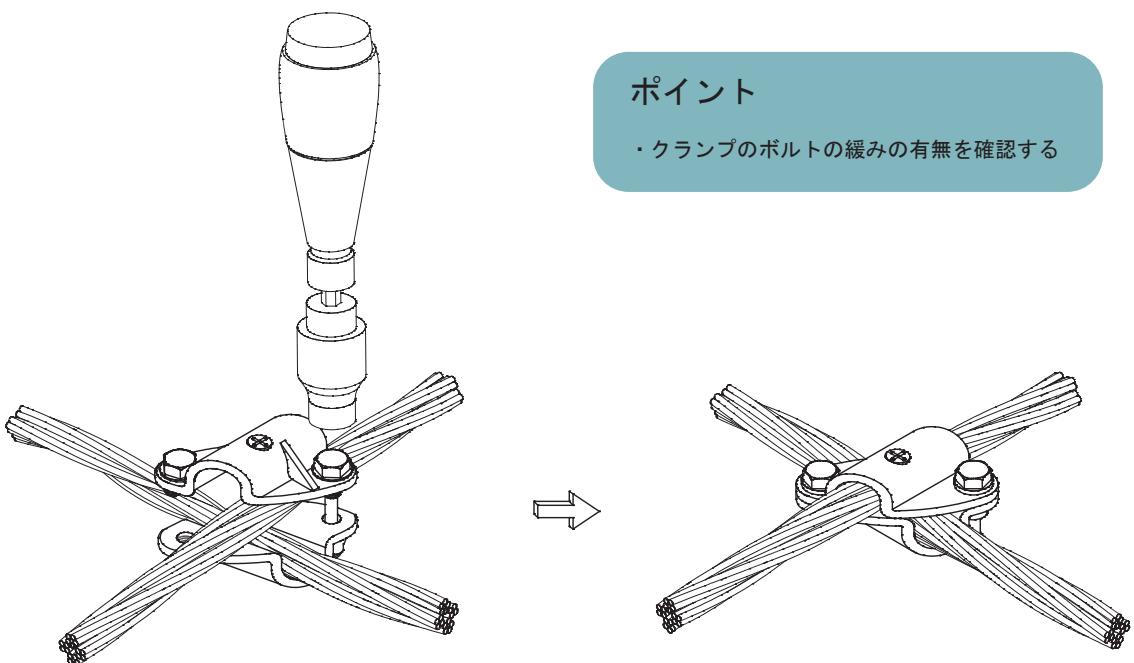
## T型クランプ・十型クランプ アルミ線用



(1) 各クランプにアルミ線を挟む。

### ポイント

- ・クランプのボルトの緩みの有無を確認する



(2) クランプをボルト2ヶ所で固定する